



佐藤哲司 Tetsuji SATOH

教授 Professor

博士 (工学) Ph.D.

Keywords: データ工学, コンテンツ工学, 情報行動, ソーシャルキャピタル形成

Contact: satoh@ce.slis.tsukuba.ac.jp

Web: <http://www.slis.tsukuba.ac.jp/~satoh.tetsuji.gf/index-j.html>

IMAGINE
THE
FUTURE.



筑波大学
University of Tsukuba

Graduate
School of
Library,
Information and
Media Studies

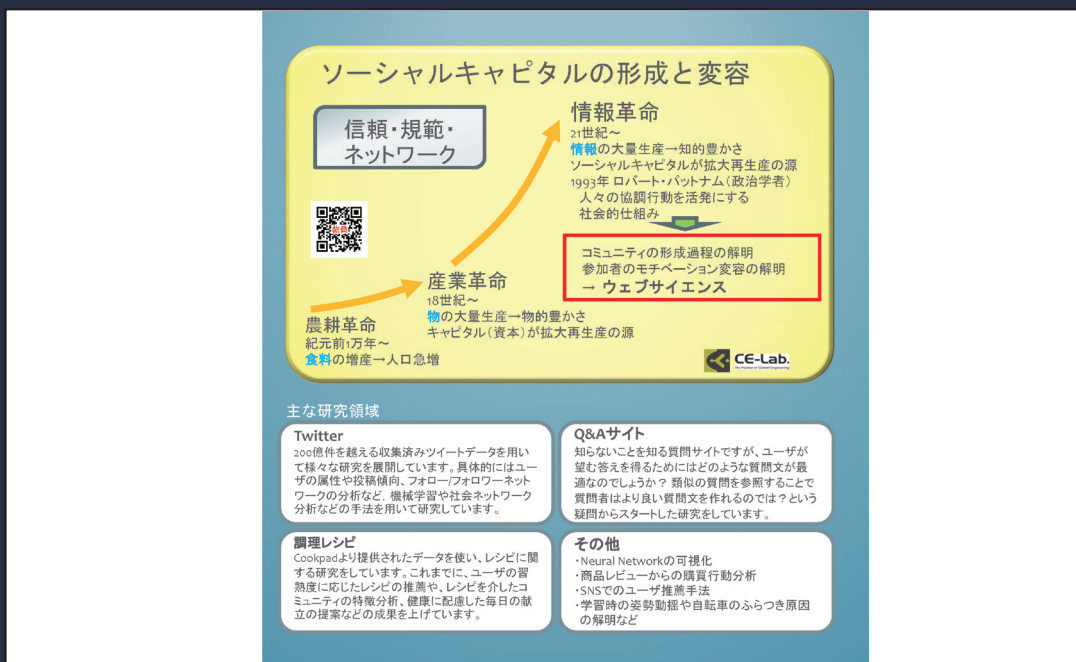
研究概要

21 世紀は情報革命の時代だと言われています。かつての産業革命で「物」を大量生産できる枠組みが整ったことで、私達は、車や家電製品などの「物」を日常的に所有し消費することが当たり前の世界となりました。身の回りにあって当たり前、コモディティ化した商品、例えば、石鹸やシャンプーのように広く普及一般化した商品は、洗浄力という本来の機能では差別化が困難になって来ています。携帯電話・スマホもコモディティ化が進み、物だけでなくサービス・情報も『使

捨て消費財』になってきています。

情報革命は、「情報」をコモディティ財へと変化させました。小生が主宰するコンテンツ工学研究室では、コモディティ化が進む情報化社会において、新たなサービスを創出する社会的な資本（ソーシャルキャピタル）の形成・変容過程を、機械学習や確率・統計などの工学的なアプローチによって解明することに取り組んでいます。他にも、学習支援・健康支援、映画や図書などの情報推薦など幅広く研究しています。

www.slis.tsukuba.ac.jp



論文

1) 伏見卓恭, 佐藤哲司: 時系列文書に対するトピックフォレストの構築と構造解析, 日本データベース学会和文論文誌 Vol.16-J, Article No.1, pp. 1-8 (Mar. 2018). 2) Shuhei Yamamoto, Kei Wakabayashi, Tetsuji Satoh, Yuri Nozaki and Noriko Kando: Twitter user growth analysis based on diversities in posting activities, International Journal of Web Information Systems, Vol. 13, No. 4 pp. 370-386 (Nov. 2017). 3) 柘植大, 佐藤哲司, 伏見卓恭, 神門典子: ソーシャルネットワークを活性化する『聞き役』ユーザの発見, 情報社会学会誌, Vol. 12, No. 1, pp. 53-62 (July 2017). 4) Shuhei Yamamoto, Noriko Kando, and Tetsuji Satoh: Life aspect inference of tweets based on probability distribution, Web Intelligence, Vol. 15, No. 1, pp. 55-65 (May 2017). 5) Kazufumi Inafuku, Takayasu Fushimi, Tetsuji Satoh: Graph Generation Method Based on Relative Value of Neighbor Edges, Proceedings of 19th International Conference on Information Integration and Web-based Applications & Services, iiWAS2017, pp. 358-368 (Dec. 2017). 6) Shihono Karikome, Noriko Kando, Tetsuji Satoh: Structural Analysis of Procedural Texts for Generating Flow Graphs, Proceedings of 19th International Conference on Information Integration and Web-based Applications & Services, iiWAS2017, pp. 577-581 (Dec. 2017).

メッセージ

弊コンテンツ工学研究室には、毎年 10 名程度の学生が所属し、日々、自分の得意を磨きながらそれぞれの価値を高めています。得意を先鋭化して社会に通用する魅力とするために皆さんも一人で抱え込まずに協調・競争していきましょう。学生時代にはしか出来ないことに全力を傾け「今」を大事にして生きていきましょう。微力ながら、できる限りの支援をどなたにもさせていただきます。

関連情報サイト

1) <http://www.slis.tsukuba.ac.jp/~satoh.tetsuji.gf/index-j.html>